

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市女性会館		
課 名	社会的包摂推進課		
指定管理者名	特定非営利活動法人 男女共同参画フォーラムしずおか		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和8年6月19日（金）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 興津 昌利（社会的包摂推進課長） ②委 員 石川 賀久（市民自治推進課長） ③ " 大石 誠（生涯学習推進課長） ④ " 池田 恵子（静岡大学グローバル共創科学部教授） ⑤ " 道喜 道恵（特定非営利活動法人浜松男女共同参画 推進協会理事長）		
評価点 (各委員平均点)	91.8点	評価	Ⓐ・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	指定管理者は施設の設置目的を十分に理解し、第4期は若い世代をターゲットに事業を実施するなどの創意工夫をして、協定書における仕様書や各年度の事業計画書に沿って事業を良好に実施している。 講座の企画運営は、各年代に効果的な講座を開催しており、全国女性会館協議会主催のイチオシ事業大賞を受賞するなど男女共同参画分野をはじめとした社会情勢の変化を踏まえ実施されている。 指定管理第4期における図書業務は、多様な外部機関との積極的な連携により、施設単独では届かない層への情報発信を広げつつ利用者が資料を手に取りやすい環境づくりに努めている。また相談業務は、様々な悩み等の相談に関し、ケースカンファレンスや外部研修を定期的実施することで相談の質と専門性の向上を徹底している点は評価できる。 利用者ニーズの把握については意見聴取の場が限定されている課題が見受けられるため、幅広い意見を吸い上げ、施設の運営		

	に反映できるような取組が必要である。 また、目的をもって来館する利用者だけでなく、これまで情報の届いていない層へ情報発信をすることや複合施設である葵生涯学習センターと連携して新規利用者の獲得を期待したい。
--	--

総合評価結果総括表

施設名称 [静岡市女性会館] 課名 [社会的包摂推進課]
 指定管理者名 [特定非営利活動法人 男女共同参画フォーラムしずおか]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 職員が女性会館の設置目的及び管理に関する基本的な考え方を理解している。(5点)	5	5	5	4	5	4.8
(イ) 計画書等に示された事業が予定どおり円滑に実施されている。(10点)	10	10	10	9	8	9.4
(ウ) 適正な能力を持った職員が適正な人数で配置されている。(5点)	4	5	5	4	4	4.4
(エ) 利用団体に対して、指導助言を行い、団体活動支援を行っている。(5点)	4	4	4	5	4	4.2
(オ) 利用者に対して、施設や講座等の情報提供に努めている。(5点)	5	5	5	4	4	4.6
(カ) 職員の利用者に対する応対が親切丁寧であり、利用者に安心感を与えるとともに、利用者の信頼感を得られるように努めている。(5点)	4	4	4	5	5	4.4
(キ) 施設及び設備等の利用許可に関する業務が適切に実施されている。(5点)	5	5	5	4	5	4.8
(ク) 適切な会計処理がなされ、概ね予算どおりに執行されている。(5点)	5	5	5	5	4	4.8
(ケ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施されている。(5点)	5	5	5	4	5	4.8
小 計	47	48	48	44	44	46.2
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者のもつ専門性・技術等を活かした様々な事業が企画・実施されている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(イ) 指定管理者の持つネットワーク・ノウハウを活かし、情報を積極的に市民に提供している。(5点)	5	4	4	4	4	4.2
(ウ) 利用者が安心・安全・快適に利用できるよう努めている。(5点)	5	4	5	4	5	4.6
小 計	15	13	14	13	14	13.8
3 市民(利用者)のサービスの向上	【配点15点】					

(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けている。(10点)	10	10	8	5	10	8.6
(イ) 利用者の意見等を積極的に集める仕組みをつくり、意見等に対して速やかに対応している。(5点)	5	4	4	4	5	4.4
小 計	15	14	12	9	15	13
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 複合施設として葵生涯学習センターと連携・協力し、施設の運営を行っている。(5点)	5	4	4	4	4	4.2
(イ) 静岡市男女共同参画行動計画に沿った事業運営が実施されている。(5点)	5	5	5	4	5	4.8
(ウ) 図書コーナーを適切に運営し、男女共同参画に関する情報の収集、発信に努めている。(5点)	5	5	5	5	5	5
(エ) 各相談業務を実施し、様々な問題や悩み等の相談に応じ、適切な支援をしている。(5点)	5	5	5	4	5	4.8
小 計	20	19	19	17	19	18.8
合 計	97	94	93	83	92	91.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・必要で適切な企画、管理運営ができています。職員の知識共有やサービス向上の点でももう少し改善の余地を残す。 ・積極的な情報発信、テーマを設定した創意工夫ある取組は評価できる。 ・満足度がとても高い。 ・情報発信、相談支援が極めて優秀といえる。 ・相談内容を講座につなげるなど効果的な運営ができています。全国協議会の表彰を受けるなど、社会的評価を得ている。
【B評価委員】
・施設の稼働率も高く、各指標とも目標を大きく上回るなど、良好な事業運営、施設管理が行われている。 ・専門性の高い人材の育成とそういった人材による継続的な事業実施、支援体制が確保されている。 ・満足度は高い水準であり、高い評価を受けている。 ・複合施設としての苦勞はうかがえるが、施設管理は適切で、図書コーナーの利用者も増えている。 ・講座のひとつひとつが課題を的確に捉えた実効性の高い内容になっている。また、相談事業においても様々な課題を抱える方に寄り添い必要な支援につなげていくという姿勢が一貫してみられる。さらに、中高生の講座参加者の増加など、若年層への働きかけ等へのアウトリーチにも積極的に取り組んで、成果を出している。本市における男女共同参画推進の中核施設として重要な役割を担っているものと評価します。
【C評価委員】
・新たな利用者層の開拓や充実度の高い講座など、予定どおり事業が実施されている。「自主研修に関する支援規定」を設けたり、貸館業務への対応など職員に対する支援についても評価できる。 ・全国女性会館協議会主催のイチオシ事業大賞の受賞を含む様々な企画・事業は職員の創意工夫がみられ高く評価できる。 ・受講者満足度は高い数値を維持できているが、利用者全体の満足度は明確でない。 ・行動計画に沿って工夫を凝らした様々な事業が展開されていることは評価できる。 ・全体として施設の設置目的に沿った施設管理運営と質の高い講座・相談等の事業が出来ている。特に職員に対する研修機会の提供やアウトリーチによる職員の講師経験の提供などに注力している点は今後を担う世代の育成として高く評価できる。利用者の満足度については、講座受講者以外の利用満足度もアンケートが取れるようであれば、把握し、今後の施設全体のサービス向上につなげていただきたい。
【D評価委員】
・若者向け講座を中心に仕様書の内容を超える成果を上げている。相談、図書も工夫を重ねて利用度を上げている。対象者の拡大にもつながった。 ・防災、探究学習支援、キャリア支援など一定の知識、専門性が必要な事業が成功している。 ・講座受講者の満足度は高い。利用者の声をききとる努力も行われている。 ・利用者の増加（図書、相談）につながる工夫を行っている。 ・コロナの終息、オンライン化、探究学習の開始など社会状況の変化にもよく対応し、工夫しながら成果を上げた。特に若者向けアウトリーチは、今後さらに対象を拡大して行うことが期待される。しっかりと実施プロセスを検証し、より成果をあげられるよう、取り組んで

もらいたい。総じて、求められる水準を大きく上回る成果をあげたと評する。とりたてて指摘すべき課題は見つからなかった。

【E評価委員】

- ・指定管理4期ということで随所にその経験や知識からくる配慮や行動を見ることができる。
- ・フォーラムしずおかさんの活動は、全国の男女センターの中でも評価が高く、参考になっているセンターも多くある。そのノウハウを持って静岡市のために尽力していると評価できる。
- ・相談事業をはじめ、1つ1つの事業を丁寧に行っていると見受けられる。現場で得られた課題を次の事業に活かし速やかな切り替えができる体制となっている。
- ・図書や相談事業についても他の男女センターがお手本とするような内容となっている。葵生涯学習センターとの連携は、もっと積極的に取り組み、稼働率向上を目指してもよいと思う。
- ・繰り返しになるが、フォーラムしずおかさんの活動は、静岡市民にとって男女共同参画のため、高く評価できる。

その内容は、全国の男女センターが参考にするレベルである。男女共同参画の成果は、速効性があるものではなく、長期的な視点が必要である。その点において現場からあがってくる課題を速やかにくみ取り、市民サービスへと昇華している。今後は熱意ある活動がゆえ、指定管理業務を超えた場合、コスト（人件費や時間コストなど）との兼ね合いをどうするのか経営判断が必要かと思われる。

評価委員会としての意見

- ・全体的に指定管理者は施設の設置目的を理解し、時代に合った取組が評価できる。
- ・講座、相談、図書など随所に創意工夫がみられ、指定管理の仕様書以上に積極的に取り組んでおり、静岡市における男女共同参画推進の中核施設として重要な役割を担っているものと評価できる。
- ・相談事業は、専門性を活かして全国の男女センターでも実施することが難しい同行支援を行っているなど、全国的にも評価されている。SNS相談など他の部署とも連携し、実施できると支援の幅が広がる。
- ・複合施設の強みを生かし、連携をすることで施設の可能性を広げていくよう期待したい。
- ・一方で利用者ニーズの把握が限定されていることが見受けられるため、多くの利用者からニーズを聞き取ることで今後の施設全体のサービス向上につなげていただきたい。
- ・特に若者向けのアウトリーチは、今後さらに対象など対象を拡大して行うことが期待される。しっかりと実施プロセスを検証し、より成果をあげられるよう取り組んでももらいたい。